

あなたもお読みください
 真実つたえ希望はこぼ
 しんぶん **赤旗**
 日刊 1カ月 3400円
 日曜版1カ月 800円

手良民報

生活相談はお気軽に
 電話 78 - 0943
 赤旗読者に配達
 発行
 日本共産党・手良支部

戦前からの念願

「手良誌」発行

戦前からの念願であった、手良の故郷を知る歴史書が「手良誌」として発行されました。

平成十八年四月に刊行委員会（那須野文人委員長・二十五名）が立ち上げられ、それに引き続き編集委員会（山岸久男委員長・十六名）が設置されました。

以来七カ年にわたり、五十数回にも及ぶ会議を持ち、調査、執筆、編集と諸活動を経て発行の運びとなりました。

最初、七百五十部発行



手良誌

の予定でしたが、地区内外からの期待を感じ千部に変更しました。

現在地区内で約600部が頒布され、地区外は手良出身者などから260部の申込がありました。

公共機関などへの贈呈分を考えると残部は後100部位しかないようです。

発行を祝う会は来年の一月二十六日を予定しています。

今年も営農まつり

中坪

勤労と収穫を感謝し、交流の場でもある中坪集落営農まつり（白鳥広明実行委員長）は今年も勤労感謝の日の十一月二十三日に中坪公民館で開催されました。

講堂いっぱい子どもからお年よりまで区民など例年より多い約百五十名が参加しました。

地場産の花・野菜（こぼろ、長いも、白菜）、果樹（りんご）等の即売会、新そばによるそば打ち体験がありました。

また正午からの会食では懇談しながら新そば、五平餅、すりゴマを入れた中坪の歴史にちなんだ雷電ちゃんを味わいました。



中坪集落営農まつり

集落営農祭は以前は各々が現在行われていたのが、蟹沢と中坪だけのようにです。

地域づくり大賞受賞

建労手良分会

上伊那建設労働組合手良分会（有賀孝男分会長・組合員十九名）は伊那市の今年度の地域づくりに意欲的に取り組む団体や個人をたたえる「地域づくり大賞」の奨励賞を受賞し十日に市役所で表彰されました。

手良分会は平成十二年より毎年二月に手良小学校体育館で「親子ふれあいトンカチ教室」を行ってきました。

組合員が用意した木工品のパーツを子どもたちが親と一緒にノコギリで加工し、カナツチを使ってイスや本棚を作りあげていくのを指導します。

こうした作業を通して親子の絆が深まり、子どもたちは物作りの楽しさを味わうことができます。

また、福祉活動の一環として、一人暮らしの高齢者への包丁研ぎのボランティアを行ってきました。

これらが認められて受賞となったものです。

総選挙の結果について

日本共産党手良支部

今度の総選挙では手良支部は日本共産党の政策や考えをチラシや声配布をし、ポスターの看板を立て、また宣伝力でも街頭から訴え、皆さんに理解してもらおうとに努めました。

その中で対話をし、多くのおみなさんから支持と協力をいただきました。

しかし、比例・北陸信越ブロック全体では21万219票を獲得しましたが、残念ながらわずかにおよびませんでした。

また、小選挙区も残念な結果になりました。

日本共産党の立派な精神は「国民の苦難の軽減」にありますので、今後も地域のおみなさんのご意見をよく聞いて、地域に役に立つよう頑張りたいと思います。

国防軍や集団的自衛権の行使は危険

自民党は、国防軍の明記

や集団的自衛権の行使を可能にする改憲を公約しています。憲法9条では、「自衛権はこれを保持しない」とあり、「交戦権ももたない」と明記されています。侵略戦争の反省の上で作られた平和憲法が壊されようとしています。

私は、戦争の従軍記録を集めています。日本兵士は、中国や韓国で本当にひどいことを行いました。その負い目は戦争が終わっても何十年経つても拭い去れず記録となつていっていると思います。危険な改憲に反対してまいります。

また、原発の再稼働を許さないことや、消費税

子どもの医療費無料

が中学3年生まで拡大

私の選挙公約であった子どもの医療費無料の対象年齢拡大ですが、十二月市議会で質問しましたが、白鳥孝市長は「議会の承認を受けて、来年8月から対象を中学3年生まで拡大したい」と答弁しました。引き続き公約実現のためがんばります。

十二月十八日市議会議員 柳川ひろみ



今年の手良地区で本の出版が続いた。つかんでいるだけでも、四月に野口東松の矢澤久豊さんの薬局・薬店・ドラッグストアを賢く利用する方法や豊富な知識と体験も語られる「薬の上手な買い方・選び方」八月に八ツ手の島の子さんの粉引き陶器の温もりや手良の素晴らしい自然と、人との温かい絆などを再認識させてくれる「島の子のおいしい器」十一月に手良歌会

のそれぞれのみなさんの郷土への思いにも触れさせてくれる短歌の合同歌集「山あちこち」最後、十二月に長い間の念願であった「手良誌」の発行である。それぞれに個性があり、各々本の内容は違いつれども手良の空気が流れて、地域の底流に脈々と文化の流れがあるのを感じさせてくれ、また文化を生み出す雰囲気を感じられるのは嬉しい。「手良誌」の発行を機会にもう一度手良の文化について歴史的にも振り返ってみる機会にした。

(T)

手良山脈山歩記

(3)

野口 山下兼幸

徳利洞からは、曲りくねった二本の「堀割」。また伐採木が尾根を跨ぎ非常に歩き難い。

ところで「堀割」って雨水を流し易くするため設けたのか。それとも昔、馬が木をずり挽きした跡が雨であのような深い堀になったのか興味深い。

途中小高い頂上で休憩。我が家付近が木枝の隙間から見える。

休憩後、不動峰目指すが辿り着いた所は鉄塔だ。不動峰迄の間に鉄塔がある筈がない。そこは黒沢集落の南側だった。誤った原因は不動峰の巻き道(頂上を歩かないためのパイパス)を通ったからだ。戻って不動峰で昼御飯。

生活雑記 105

努力の成果

小松利江

今年、高齢者クラブの忘年会に合わせて、医療生協の健康チェックを行なった。

何時ものように個人の測定結果が出るたびに喜んで安心したり楽しい雰囲気の中で、演歌体操や頭の体操、健康の話も勉強できて最高の一日だった。

今日の測定結果は思い

不動峰の特徴、それは御料局の三角点が二基設置されていることだ。帰路で再度迷った。原因は先程触れた堀割だ。間違えば手良へ、又は猪鹿沢へ下ることになる。間違えても手良へ降りた方がベターだ。下りた所は手良の竜ヶ沢だった。

これ迄よくぞ歩いたが未踏部分は芦沢から笠原の間の尾根だ。しかし国土地理院の地図にこの間に道らしきものは一切無い。これも歩いていないに立派な林道を発見した。

最後に集大成として二日間縦走することを計画。猛暑日の八月四日、五日。初日は鉄塔から松尾峠。二日目は芦沢から鉄塔。下界は猛暑でも山道は木漏れ日。快適な山歩きができた。

最後に・・・今回、踏破したことで日々眺めるがけない嬉しい数値が並び、努力の成果があったことに満足した。

十月の測定結果と比較してみても驚いたのは、体脂肪率、脂肪量が半分に近い数値に減っていたこと、筋肉量も推定骨量も前回とは比較にならないほどのよい数値だった。

脚点は低い、やや低いをはるかにこえて良いの枠の中いっぱい押し上げています。

体脂肪と筋肉量による体型判定は運動不足型から細身筋肉質に変身した。この一年間は犬のお陰

手良山脈に親しみが増してきた。(終)



黒沢道の整備 風越ロマンズ街道の会

「風越ロマンズ街道の会」(宮原達明代表)では一般にも呼びかけて1月10日に古道・黒沢道の整備作業を行います。

両区の林務役員を含め10名が参加し道路沿いの笹などを刈って整備し、また見晴らしが良くなるように間伐もしました。

堂平と峠からの見晴らしが良くなり、途中乗鞍

で雨の日以外はほとんど毎日のように歩いた結果だと思つた。

犬に引かれて七千歩は歩くので疲れて嫌だなあと思いつつながら暑い、寒いに耐えながらの一年が過ぎた。

さてこの先一年元気で歩けるだろうか、自信はないけど努力はしようと思つた。歩くといふことでこんなに嬉しい結果が出るんだつたら止められないし、血圧も朝と夜との二回、記録をとるようになってから安定しているような

文化祭に向けて 俳句募集 手良公民館

手良公民館では文化祭に向けて俳句を募集しました。手良地域の22人から41句が集まりました。

春日愚良子先生(有線放送「暮らしの文芸」選者)の選句の結果は

岳や北アルプスが見える ビュウースポットも新たに出来ました。

黒沢道は峠を越えて黒沢部落へ下りても帰りが困難ですので、将来は尾根伝いに笠原へ下りる周遊コースも構想されています。



黒沢道の整備作業

気がする。

塩分量は漬物の美味しさに誘惑されてか少し高いのが気になったので、早速今日から薄味料理に挑戦して今度の健康チェックまでには、健康高齢者になりたい。

継続の努力を怠ることなかれ、老身にムチ打って、頑張ろう。



最優秀賞 高々と幟の先のいわし雲 高橋正行
優秀賞 肩口触れ大きく こぼす秋の花 高橋きんよ
優秀賞 秋の花道に枝垂れて朝ラツシユ 高橋忠
優秀賞 キウイ蔓手招きしつゝ泳ぎぬる 向山弘

歌集出版

手良歌会

短歌の会「手良歌会」(代表 向山文昭・会員十二名)では五年ぶりに合同歌集「山あちさる」第四集を発行しました。

B6版の表紙の色はみやぎぬ山吹で、一人三十首の

一六三ページ。会員十二名のほか元会員・故人三名の歌も掲載されています。

日々の生活の中で、見たこと、感じたこと、思ったこと、考えたことなどを生きた証として残そうと作られています。

手良歌会は手良公民館のクラブとしても登録され、宮脇瑞穂先生(有線放送「暮らしの文芸」選者)の指導の下、年5回ほど美篇歌会と合同で歌評会を行な

い、文化祭には短歌の色紙などを掲示し、文化芸能大会には自作短歌のスライドを上映しています。

俳句 初しぐれ

小松利江

雲走る棚田の人も走る秋 初しぐれ重ね着重い旅仕度 水ぬるみ土手で小昼のお相伴 春泥を残して帰る午後のお客 ほおずきが刈り残されて土手は秋



佳作 コスモスを分け入る家や老二人 北原温子
佳作 あかね空子のあそび声 すいこまれ 菅野明子
佳作 爽やかに金木犀が香り立つ 向山忠男

歌集は手良図書館などに置いてあります。希望者には一冊千円で頒布しています。問合せは向山(電話78 6357)。



心を込めた手作り(2) 小林貴子

卵、肉、魚もニワトリの卵一個にも何人の人の手がかけられて、ここにあるのだらう、と深く思う。人の命の手で育てられた食材の大切さから、農業は生きる基本であり、農業をされる方はすばらしい方だと感じさせられます。安心して生きられる社会をつくるには、自給率を上げる事が大切に思っています。そして、良い農業の為に、自然環境を守る事を願います。子どもたちの未来の為に、3年前から、手良小学校

「給手紙教室」を始めました 高橋きんよ

連絡先 高橋 (七八〇九四三)

で給食作りをさせて頂いております。手良小学校の給食は、地産地消が取り入れられ、地元野菜が届きます。

命の食材を育てられた方に感謝の心で、食材の命へ感謝も大切に、その命を調理し、子供達へ届ける「心を込めた、手作り」。ほとんど残さず食べる子供達にありがとうが心に広がります。

私の手作りの姿、畑で野菜を育てる人の姿、米を作る人の姿、手で体で作る事の大切さを子供達に知ってほしいと思ひます。

手作りはすばらしい事と感じてほしい、そこから広がる世界とありがたうの感謝は限りなく大きいからです。それが食育と思ひます。

お店に行けば何でも買える今、お店では買えない手作りメニューの給食をこれからも作りつづけたいと思ひます。大切な子供達を思ひ。(終)

(おながい)

身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思ひます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。 七八〇九四三 高橋